

令和2年5月26日

地域小学生バレーボール連盟  
会 長 理事長 各位

神奈川県小学生バレーボール連盟  
会 長 小川 伸一  
理事長 千葉 賢也

## 所属チームの活動再開に関するガイドラインについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響により3月より活動自粛を続けてまいりましたが緊急事態宣言解除を受けて徐々に活動ができる見通しが出てまいりました。

しかし、依然として【新しい生活様式】や【感染拡大防止の措置をとる】など再開に向けてハードルが高い条件が付けられています。そこで、別紙のとおり再開にあたり日本小学生バレーボール連盟や神奈川県小学生バレーボール連盟のガイドラインを参考に再開を考慮するようにお願いいたします。

神奈川県内の小学校は各市町村で学校再開の対応も異なりますのでチームの活動については行政などの指示や発表をもって自粛、再開の判断を地域小学生バレーボール連盟でお願いいたします。決してチーム単独で決めさせないようにお願いいたします。

活動再開をする場合でも感染予防を最大限に行い活動してください。

今後の神奈川県小学生バレーボール連盟の事業については関係者の安全と子どもたちの学習を最優先とし今年度は活動してまいります。

ようやく待ちに待った活動再開の光が見え始めました。今まで誰も経験をしたことのない未曾有の事態に子どもたちもよく耐えた事と思います。まずは、学校や学習を優先してください。夏休みも短く毎日の授業数も多くなることも予想されます。今年度は我慢の活動です。市中から新型コロナウイルスが消えたわけではないことを私たちは忘れてはなりません。しっかり対策を行って楽しくバレーボールができるようになるまで関係者全員の手を携えワンチームでこの難局を乗り越えましょう。

## 神奈川県小学生バレーボール連盟感染拡大防止ガイドライン

### 【基本】

- 3密（密閉・密接・密集）を避ける
- 洗面所に手洗い石鹸を設置する。
- 手指消毒ができるアルコールを設置する。
- 基本的にマスクを着ける。
- 人同士の距離（1～2メートル）をとる。
- 検温を行い練習前に体調の報告。
- 換気を常に行う。
- 熱中症に注意する。
- 大声は出さない。
- 参加名簿の作成（活動日ごとに）

以上の事を遵守し活動などを行う。

### 【練習】

- 学校開放が始まり練習再開にあたり選手の体力を考慮し始めは練習時間を短く（2時間以内）して徐々に体を慣らしていく。また、練習日の間隔も通常に戻すのではなく徐々に（再開後1か月程度は週1日程度）に再開をすること。
- 体育館での練習は、なるべく人数が少ない状態で行う。学年別にするなど工夫をして、1グループ10名程度にする。
- 選手同士が接触しないような練習を工夫する。手をつなぐ、腕を組むなどは避ける。
- 大きな声を出して練習しない。指導者は「声が小さい」など叱咤的なことを必要以上に大きな声で言わない。
- 練習前には参加するすべての人は必ず検温をしてから参加する。風邪気味や体温が高い時は練習に参加しない。
- 汗ふき用のタオルは個人用とし、共用はしない。
- 飲み物は個人の水筒やボトルを使用して、共用しない。また、ボトルは個人が管理し一緒の場所（クーラーバック）に保管しない。給水は選手同士が離れた場所で行う。
- 指導者は、選手との身体的距離を守り、指示は短めにする。
- 練習中はこまめにうがいをする。練習後は手洗い・うがいを必ず行う。
- 練習の行き帰りは、マスクを着用する。特に指導者と保護者は必ず着用する。
- 熱中症対策も忘れずに行う。水分補給や休憩などをこまめに行う。
- 体育館は換気のため窓や扉を開ける。換気が出来ない場合は練習を行わない。
- 当面は宿泊を伴う練習も行わない。
- 使用した道具は除菌をする。
- 使用する体育館により状況が違うので体育館管理者の指示に従う。
- 指導者は練習場での選手の体調管理を行うこと。
- 救急用具（嘔吐物処理含む）を必ず用意する。

## 【練習試合・試合】

### ☆練習再開直後から約1か月程度

- 当分の間は他チームと練習試合や対外試合・練習会は自粛する。
- 都県をまたいで練習試合に出かけたり、ほかの都県チームを誘ったりしない。

### ☆練習再開後1か月後から徐々に

- 練習試合は、当初、2チームくらいにして、たくさんの人たちが集まらないようにする。
- 1チームの人数をできる限り少なめにする。試合に出ない選手などは参加させない。
- 応援の保護者の人数も必要最低限にする。保護者はマスクを着用し、大声での応援はしない。
- 体が慣れるまでは、午前だけとか、午後だけにして、1日中はしない。
- 指導者はベンチでマスクを着用し、大きな声を出して指導しない。
- タイムアウトやセット間等での指導者の話は身体的距離を守る。
- 行き帰りに交通機関（公共交通機関または車）を利用する場合、マスクを着用し、おしゃべりはしない。
- 会場校はトイレや体育館の入り口にアルコール等による消毒液を設置する。
- 昼食時は、選手同士の距離を空け、対面での飲食は避けて、静かに食べる。  
(練習時も同様)
- 試合のない時は選手もマスクを着用する。
- 指導者の話は、身体的距離を守り、マスクを着用し、短めにする。
- 体育館は換気のため、窓や扉を開けておく。換気が出来ない場合は自粛する。
- 熱中症対策も忘れない。水分の補給やこまめな休憩を行う。
- 試合会場へ出入りした全員（選手・保護者・指導者）の連絡が取れる名簿を作成する。
- 近隣の医療機関は必ず事前に調べておく。
- 審判を行う選手と指導者は吹笛をする笛を使用しない。電子ホイッスルを使用する。